

ご使用に際して、この説明書を必ず読んで下さい。  
また、必要な時に読めるよう本剤とともに保存して下さい。

第2類医薬品

10

か み しょう よう さん  
錠剤 加味逍遙散

⚠ 使用上の注意



相談すること

- 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
  - 医師の治療を受けている人。
  - 妊婦又は妊娠していると思われる人。
  - 胃腸の弱い人。
  - 今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。
- 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

関係部位	症 状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振、胃部不快感

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症 状
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
腸間膜静脈硬化症	長期服用により、腹痛、下痢、便秘、腹部膨満等が繰り返しあらわれる。

- 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること  
下痢
- 1ヵ月位服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
- 長期連用する場合には、医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

〔効能・効果〕

体力中等度以下で、のぼせ感があり、肩がこり、疲れやすく、精神不安やいらだちなどの精神神経症状、ときに便秘の傾向のあるものの次の諸症：

冷え症、虚弱体質、月経不順、月経困難、更年期障害、血の道症<sup>注)</sup>、不眠症

〈効能・効果に関連する注意〉

注) 血の道症とは、月経、妊娠、出産、産後、更年期など女性のホルモンの変動に伴って現れる精神不安やいらだちなどの精神神経症状および身体症状のことである。

〔用法・用量〕

食前1時間、温湯で服用する。

年 齢	1回量	1日服用回数
大人	6～8錠	3回

〔成分・分量〕（本品100錠中）

日局	トウキ末	3.4 g	日局	ボタンピ末	2.2 g
日局	ソウジュツ末	3.4 g	日局	サンシシ末	2.2 g
日局	シャクヤク末	3.4 g	日局	ショウキョウ末	0.4 g
日局	プクリョウ末	3.4 g	別紙規格	サイコ末	3.4 g
日局	カンゾウ末	2.2 g	別紙規格	ハッカ末	1.0 g

〔保管及び取扱い上の注意〕

- (1) 小児の手のとどかない所に保管すること。
- (2) 直射日光をさけ、なるべく湿気の少ない、涼しい所に密栓して保管すること。
- (3) 誤用をさけ、品質を保持するために、他の容器に入れかえないこと。
- (4) 保存の状況が悪いと、場合によっては虫、カビ等がつくことが考えられますので、上記の注意を必ず守って下さい。

本剤は、原料として天然の生薬を用いていますので、製品により多少色が異なったり、開栓後、吸湿により錠剤の色が濃くなる場合がありますが、効果には変わりありません。

〔お問い合わせ先〕

一元製薬株式会社「お客様相談室」

〒171-0043 東京都豊島区要町3-4-10

電話：03-3973-2917

○受付時間：9:00～17:00（土、日、祝祭日を除く）



一元製薬株式会社

東京都豊島区要町3-4-10